

The Practice

実践から学ぶ経営手法

CONTENTS

CCCを探せ!.....58

【第4回】ヴォイジャー・クリニック新橋

先進診療所の会議術.....60

【第4回】うへの歯科医院

気になるアノ企業の取り組み.....62

【第4回】アスクル株式会社

強い診療所をつくる「医経統合」.....64

根本和馬

リーダーのための 経営バイブル

▶ 大場俊彦さん (慶友銀座クリニック院長)

『思考スピードの経営』
ビル・ゲイツ/日本経済新聞社

『スノーボール ウォーレン・バフェット伝』
アリス・シュローダー/日本経済新聞社

『ジャック・ウェルチのGE革命—世界最強企業への選択』
ノエル・M・ティシー、ストラトフォード・シャーマン/東洋経済新報社

院長 長として診療所の運営に携わる前から手に取っていた本が、今の経営に活かしていると日々感じる事が多くなります。なかでも印象に残っているのは、ビル・ゲイツの『思考スピードの経営』。経営は「運」に左右される部分が大きく、ツイてる時があれば、またそうでない時もある。だからチャンスが転がり込んで来たら、その運を必ず味方につける。与えられたラッキーを大切にすることが重要であると再認識させられます。

もちろん幸運も経営には必要ですが、運だけに頼るべきものではありません。このことを教えてくれたのが、『スノーボールウォーレン・バフェット伝』です。アメリカの著名な投資家であり、経営者でもあるウォーレン・バフェットは、自分が知っている分野のみに投資することを基本的スタイルにしています。これは決してマネーゲームに走ることなく、堅実にお金を貯めていく姿勢を崩さなかったことを

意味します。ビジネスでも目先の利益にとらわれ、あちこちに手を出すのではなく、着実に利益を積み上げていく長期保有の観点が重要だという、彼の経営の方向性を学べる一冊です。

そして、『ジャック・ウェルチのGE革命—世界最強企業への選択』では、システムを進化・変化させていくことの大切さに気付かされました。システムは流動的なものと捉え、常に改変を考えていくことが必要です。

また、学生時代に繰り返し読んだ横山光輝氏の『三国志』からも人・金の使い方、人事の仕方、組織の作り方などを学びました。昔読んでいた本は、確実に今の経営に繋がっています。

